

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立浦和北高等学校	Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	単位制の趣旨や生徒の状況を踏まえ、目指す学校像が設定されている。「単位制の特色を生かして教養を高める」という目標に向けて課題をより広く把握・分析し、目指す学校像を更に具体的かつ魅力あるものにしていただきたい。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の置かれた現状、保護者・地域の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。キャリア意識の向上と自律的態度の育成という目標については、達成に向けてより具体的なものにすると更に良い。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校評議員・学校評価懇話会の意見について共通理解が図られている。分掌・年次間の連携を図り、よく議論をしながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備して、教職員全体の参画・意識共有を促していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	方策と評価指標を設定するに当たり、生徒アンケートや進路アンケートを活用している。評価指標については、方策の達成状況を評価するものとは必ずしもなっていないため、取組指標と成果指標をうまく組み合わせで分かりやすいものを設定することが望まれる。
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が、単位制高校としての課題を踏まえた学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	学校関係者の意見やアンケート結果を教職員に示し、達成状況や課題の共通理解を図ろうとしている。前年度の課題を次年度の目標・方策の設定に生かしているが、分掌・年次と学校全体を緊密に連携させ、より組織的なPDCAサイクルを確立していただきたい。
特記事項		